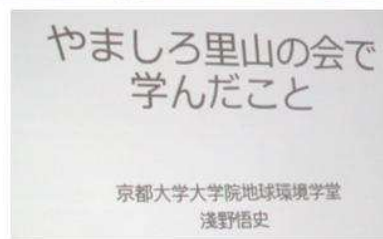
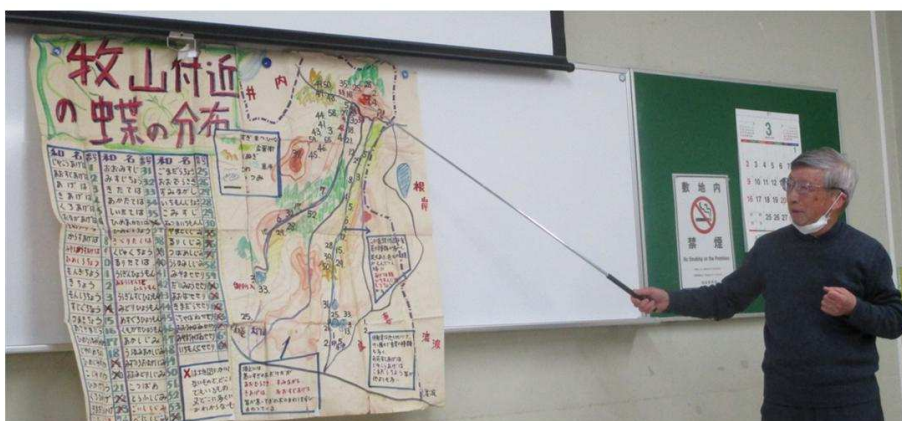


第27回 自然と環境講演会



母は丹後半島出身で小さい頃は裏山で虫取りをして遊んでいることがいい子であったとされる中で大きくなった。この母の影響で多くの事を学んだ。私はニュータウンで大きくなった。母が新聞記事で里山の会の昆虫観察会のことを知り、これに参加して、桜谷先生などから色々なことを教えられた。大学教授とは雲の上の人と考えていたが、直接教えて頂く事が出来て考え方が変わった。中学生になり受験勉強に全力傾注となり、里山の会とは遠く離れ、大学に入学して学習方法や海外へ研究に出かけ生物と環境などを学習した。自分の進む道は思い通りにならないことも経験させられた。卒業後は研究者としての方向に回り道をした。恩師の先生が研究で海外出張のため空いた席に呼び戻され今日の立場にある。子どもが出来て、幼児期の経験が大切と思う。そこで大学生と一緒に活動し学べる場(ラボ的な)を設ければと考えている。今日発表した研究成果は世界中どこでも活用できます。

2人の中学生の発表は素晴らしい内容(オオムラサキの観察・キタキチョウの観察)で、浅野先生や桜谷先生から高い評価がされました。



桜谷先生が中学生の時に作成したチョウの分布図を持参して説明していただきました。